

「日本原燃株式会社における核燃料物質の加工の事業の変更許可申請書（MOX燃料加工施設）に関する審査書（案）」に対する意見

私たちパルシステム東京は、平和を基本とし「『食べもの』『地球環境』『人』を大切に『社会』をつくります」を理念に掲げ、約52万人の組合員を擁する生活協同組合です。

2011年3月、東京電力福島第一原子力発電所（以下、福島第一原発）事故では、膨大な面積にわたる暮らしや生業の場が放射性物質により汚染されました。事故発生から10年が経過しようとする今もなお、5万人近い人々がふるさとを離れて避難することを余儀なくされています。被災地に限らず各地におけるさまざまな社会的分断は甚大な経済的、精神的影響を及ぼしており、完全な収束はまったく見通せていません。

そのような中、原子力規制委員会は10月8日、「日本原燃株式会社における核燃料物質加工事業の変更許可申請書（MOX燃料加工施設）に関する審査書（案）」の審査結果として「適合しているものと認められる」との判断を示しました。しかし、そもそも再処理事業は、1989年に事業申請されて以来、長期間に渡り完成時期が延期されています。建設費用も当初計画では約7,600億円とされていましたが、現在は4倍に膨れ上がり約3兆円とされています。一方、「核燃料サイクル」のもうひとつの要であった高速増殖原型炉「もんじゅ」は2016年12月に廃止（廃炉）が決定されました。これらの事実経過から、「核燃料サイクル」の今後について日本国民の重大な関心事とすべく、幅広い論議を徹底すべきです。

今回の審査書案についても以下の点に問題があり、日本原燃株式会社がMOX燃料加工施設を稼働することに強く反対します。パルシステム東京は、「負の遺産」をこれ以上将来世代に引き継がせないために、原子力規制委員会によるMOX燃料加工施設の審査書案了承に対し、以下のように意見します。

意見提出箇所：審査書16～90ページ**1. 従来想定を超える規模の自然災害の複合的な発生を評価すべきです。**

審査書案における「Ⅲ設計基準対象施設 Ⅲ-3 地震による損傷の防止、Ⅲ-5 津波による損傷の防止、Ⅲ-6 外部からの衝撃による損傷の防止」（16～90ページ）では自然現象等に対する再処理事業所の安全性確保について、審査書案では過去の記録等に基づき災害の規模を想定しています。

しかし、地震や津波、火山噴火など発生頻度の低い事象は過去の記録等に基づく最大規模の推定に限界があり、気象災害についても近年は従来想定を超える規模の現象が頻発しています。このような想定外の自然災害が同時に発生した場合、安全対策の設備及び資機材の故障や再処理事業所構内の移動支障、外部交通の途絶などにより所期の安全機能を発揮できなくなるおそれがあります。

また、福島第一原発事故では津波という単一要因で複数系統の安全設備が機能を失い冷却機能が1日ほど停止したことで放射性物質の放出を伴う事故に至ったことを重く受け止め、特に再処理事業所においては従来想定を超える規模の自然災害が複合的に発生する可能性も考慮して安全対策の実効性を評価すべきです。

意見提出箇所：審査書全般**2. 原子力発電所よりさらに多くの放射能が放出されることに問題があります。**

原子力発電所が生み出した核分裂生成物は毎年使用済み燃料として取り出されます。六ヶ所再処理工場は原子力発電所約30基が1年ごとに取り出す量に相当する800トンの使用済み燃料を毎年取り扱い、プルトニウムを取り出します。結果、環境に放出する放射能の量はけた違いに大きくなり、原子力発電所が1年で放出する放射能を1日で放出します。放射能に閾値はありませんし、自然に放射能を無毒化する力はありません。したがって、遠くまで汚染を薄めながら広げることに他なりません。六ヶ所沖には三陸沿岸を南下する暖流が流れており、海に放出された放射能は、関東まで流れてきます。

3. 使うあてのないプルトニウムが蓄積されることに問題があります。

日本が保有するプルトニウムの量は、現在、国内外で約46トンに上り、核兵器の材料にもなるプルトニウムの大量保有には国内外から懸念の声が出ていることは既に共通認識となっています。しかし、福島第一原発事故後54基稼働していた原発は廃炉が相次ぎ、規制委員会の新規設計基準の審査で再稼働したのは9基にすぎません。再処理で取り出したプルトニウムとウランを混ぜて作るMOX燃料を使える原発は4基と限られ、消費量が増える見通しはありません。言い換えれば、再処理工場、MOX燃料加工施設ともに稼働の必要性がありません。また、MOX燃料のみを使うはずだった高速増殖原型炉「もんじゅ」は廃炉が決定しており、「核燃料サイクル」は事実上破綻しています。

以上の理由から、MOX燃料加工施設の稼働は不適切と考えます。

以上